

(様式1)

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>入居者様のそれまでの生活と地域の関わりを大切に して『入居者ひとりひとりの尊厳を大切にします』という 理念を掲げている。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践 に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>入社時のオリエンテーション・定期会議の中で確認し ている。職員は毎日理念を確認してから業務に就いて いる。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続ける ことを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に 理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議やご家族参加の敬老会・町内演芸会等 で、入居者様の生活ぶりや行事、日々の過ごし方を定 期的に報告し、協力をいつでも得られるようにしてい る。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ あったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常 的なつきあいができるよう努めている。事業 所は地域の一員として、自治会、老人会、行事 等、地域活動に参加し、地元の人々と交流する ことに努めている。また、地域の高齢者等の暮 らしに役立つことがないか話し合い、取り組んで いる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、 地域の認知症普及活動に参加している。</p>	<p>普段の散歩の挨拶だけでなく、地域で開かれている演 芸会・盆踊り・町内の祭りに入居者様と一緒に参加し 地域・地元の方々との交流の機会を持つようにしてい る。参加する事で一般の方々が車イスを押してくれ たり、入居者様の手を引いて案内してくれたりと自然と交 流が持っている。畑で採れた野菜を差し入れしてくれ るなどの交流もある。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		
6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		
7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		
9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
11	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		
13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
15	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>16</p> <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動は半年に1回1名程度で行うようにしている。(全く異動を行わない時もある)離職に関しては早めの職員補充をし、半月～1ヶ月程度引継ぎをしながら顔なじみになれるよう配慮はしている。全職員の顔写真と氏名を掲示し入居者様・ご家族様に周知していただけるようにはしている。</p>		
<p>5.人材の育成と支援</p>			
<p>17</p> <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内研修は年間予定を立て、研修部会で職員の段階に合わせた内容で研修を開けるよう計画推進している。法人外研修は研修内容と職員の資質段階に合わせて参加できるようにしている。働きながらヘルパー等の資格取得できるように配慮・励行している(勤務上)</p>		
<p>18</p> <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会の会員になっており、定期的な研修・会議・交流会・行事にも参加するようにしている。</p>		
<p>19</p> <p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>有休の使用・他職員との交流会等に参加できるよう配慮はしている。</p>		
<p>20</p> <p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>外部研修・内部研修・各チームでの勉強会を設け職員が勉強する機会を設けるようにしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>			
<p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>			
21	<p>初めに築く本人、家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居前訪問で相談助言を繰り返し、入居者様・ご家族様の不安や困難な事を解消できるよう支援している。</p>	
22	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居に至らずとも、必要な相談は各事業所と協力をし出来る範囲で支援をするようにしている。</p>	
23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前の入居者様・ご家族様の訪問見学、職員の入居前訪問等を行いご家族様・入居者様とも安心してご利用いただけるように配慮は行っている。</p>	
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>			
24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>漬物作り・畑作業・昔なじみの料理の作り方を職員が入居者様から学んで一緒に作業をしたりしている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	敬老会・誕生会・行事などにも参加の声かけは継続して行っている。出来るときであれば受診を依頼しご家族との時間が持てる等ご家族にも関わりを持ってもらえるように支援はしている。		
26 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居者様・ご家族様の関係に関わらず随時連絡を入居者様の変わりに行い関係を途切れさせたり疎遠にならないような働きかけはしている。		
27 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ドライブ・誕生日等の行事を利用したり、ご家族の協力を得て交流を継続できていたり、機会を多く持てるように働きかけをすることで支援している。		
28 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	個々の入居者様の性格も考慮し、他者との関わりを持てるようコミュニケーションにスタッフが関わる事で支援するようにしている。		
29 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了後も入院の面会・ご家族様・主治医との話し合いを継続してもち、契約終了後も相談・支援するようにし入居者様・ご家族様が不安にならないようなサポートは行うようにしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者様の思いや希望、今までの生活状況・生活歴を把握するとともに、ケア計画立案時にご本人・ご家族より聴衆しその時々ニーズが生活に生かせるよう支援している。</p>	
31	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>生活歴の聴衆を行い、畑仕事・漬物付け・ショッピング・喫茶店へのお出かけ等をプランに組み込みケアを行うようにしている。</p>	
32	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>ケア計画の実施・日課の過ごし方を経過記録に残し、三ヶ月毎に評価するようにしている。又総合的援助方針もチームで話し合っている。</p>	
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>定期的ケアマネージャー・全スタッフによる介護計画の会議を開催し入居者様のニーズに合ったプランの作成をするとともに、新しいサービス内容・計画についてはその都度ご家族に説明し理解を得て介護計画の作成に取り組んでいる。</p>	
34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>ご本人様の状態に変化があった場合は計画の実施期間に関係なく、ケア計画の見直しは行っている。またご本人様の現状をご家族に説明し理解を得られた上で今後の対応の希望を聞き取りながら計画に生かすようにしている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
35 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアは個別のケア計画に沿って記録に残し、気づきやケア方法を個々の職員が確認しながらケアを継続させていく事に行っている。又介護計画の見直しにも生かすように日々の記録を確認する作業も行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
36 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	外出・外泊の援助、主治医との協力様々に出来る範囲での支援は入居者様・ご家族様の要望に合わせ行うようにしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
37 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地区で行われている催し物に参加する際は民生委員・婦人会等の率先した協力をいつも頂いている。		
38 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	退居に際し、在宅で生活する場合は担当地域のケアマネジャーやサービス事業者との会議を持てる体制は作っている。		
39 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要と思われる入居者様に関しては、地域包括支援センター・介護保険担当の(役場)職員と会議を開き、関わっていただけるよう協力を得ている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
40 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様・ご家族様の希望をふまえ、かかりつけ医で定期的に受診するようにしている。又夜間・緊急時には協力病院との連絡が取れる体制はとっており、いつでも適切な医療が受けられるように支援している。		
41 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	主治医を通して認知症専門医師の診断や治療・相談が出来るよう配慮していただいている。		
42 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員を配置し日常の健康管理・医療活用が継続的に行われるように体制をとっている。		
43 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入居者様の入院には担当スタッフ・看護職員・管理者が面会に行くようにし、即座に病院関係者との情報交換・相談が行えるようにしている。入院時に連絡できる相手を病院側にも伝え、連絡調整が円滑に行えるようにしている。		
44 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族の精神的動揺を最小限にするよう心がけながら、今後の予測される状況を説明しながら出来るだけ早く話し合う機会を持ち、ご家族の要望にそった方針でケアが出来るようにケース会議で対応を話し合っている。重度化した場合・終末期のご家族の要望は入居前に話し合い書面で残すようにしている。		
45 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	入居前・状態の変化時等にその都度出来る範囲でのケアの支援は説明するようにしている。出来ない事への対応としては、かかりつけ医・ご家族を交え今後の対応を話し合いを持って変化に対応できるようにしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
46 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入居者様の生活状況・環境を把握し、入居前から使用していた馴染みの私物をホームでも使用する等し、変化のダメージを軽減するようにしている。		
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
47 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ケアの為の誘導は他者に聞こえないようにする。言葉かけや対応は不快を与えないように(入職時のオリエンテーション・研修などでスタッフの技術向上を図る取り組み)スタッフを教育・指導している。個人情報(他者に容易に閲覧できない場所)で保管するようにしている。		
48 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	個々の入居者様のコミュニケーション能力のアセスメントを行い、理解力に合わせた対話ケアを行うようにしている。		
49 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	外が気になったら外を見に行く。畑が気になったら畑を見に行く。食べたいものがあつたら買い物に行く。家に帰りたいれば家まで外出する。対話ケアの中で過ごし方を職員一人一人が確認しチームで一日の過ごし方の支援が個別に対応できるようにしている。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
50 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ご家族様の協力を得ながら馴染みの理容・美容店に行くようにしている入居者様・訪問美容を利用する入居者様等さまざまに選択できるようにしている。出かける際にはお化粧をしたり、髪を染めたりと無理がなく、楽しめるようにしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
51 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々に嗜好調査を行い好み把握できるようにしている。昔から食べられている食事・季節の食事を提供し、楽しんでいただけるようにしている。食事の準備・片付けは職員と入居者様と一緒に進めている。		
52 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて定期的に楽しめるよう支援している	ご家族様・主治医の了承が得られれば、嗜好品を日常で楽しめるように支援している。(夕食に一合酒をつけたり、誕生日や行事にお酒を飲む機会を持つ、好んで食べたり飲んだりしているおやつ等は定期的に購入したり、ご家族様に差し入れを依頼する等)		
53 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	三ヶ月毎に計画の評価・アセスメントを行い、心身の状況に合わせた排泄支援を行っている。一律にオムツを使用するのではなく入居者様の状況に合わせた支援を行うことに努めている。		
54 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	気分や体調を朝の時点で全員確認し、入浴したい方に声をかけ入浴する体制にしている。午前になったり午後になったりと、入居者様の状況に合わせているため時間も曜日も特に決定せず行っている。		
55 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	入居者様の身体状況や生活習慣をアセスメントを行い必要な休息やうたた寝が出来るよう入居者様の生活に合わせた支援を行っている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
56 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴を考慮した楽しみや役割をするだけでなく、今まで体験した事のない事や、昔体験したっきり継続できなかった事を体験できるように支援もしている。(例：ボーリング・釣り・映画鑑賞・ゲームセンター等)		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	管理が出来る方に関しては、ご家族様の了承を得、お小遣いを入居者様自ら管理していただいている。管理出来ない方に関しても、買い物の支払いを行っていただいたり、買いたい品物を自ら選んでいただく等、入居者様個々のレベルに合った支援をするようにしている。		
58 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	行事・通院での外出に関わらず、買い物や喫茶店へのお出かけは、希望時以外でも気分転換が必要と思われるときは随時出かけられるようにしている。		
59 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	行事の内容を熟考し、対応している。(釣り・ボーリング・映画館・ねぶたの里・水族館等)個別でもご家族様との外出でもご家族様の協力が得られる方に関しては定期的に外出していただいている。入居者様数人で外出も行っている。		
60 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙・電話に関しては入居者様・ご家族様の希望の有無に関わらず、必要と思われるときは随時対応をするようにしている。		
61 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族以外でも面会訪問ができるよう入居時・訪問時にご家族の理解を得て、ご家族様以外の馴染みの方々が入居者様の自室・食堂で団欒できるように対応している。その際の続柄の確認は行うようにしている。		
(4)安心と安全を支える支援			
62 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員一人一人が身体拘束をしないという姿勢でケアに取り組んでいる。身体拘束マニュアルが無い。		身体拘束マニュアルの作成と園内研修での勉強会の開催も計画している

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
63 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけないケアを実践しており、離設事故予防にセンサーを設置し見守りをしている。		
64 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	入居者様の所在確認はケア計画書に記載し、随時行うようにしている。離設につながりそうな入居者様に関しても、職員は随時声かけ・見守りに配慮し付き添い対応できる体制もとっている。		
65 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者様の認知度を熟考し個人管理出来る物と施設管理で使用するものに分けて使用していただくようにしている。消毒・洗剤に関しても保管管理場所を決めて事故に繋がらないように対応している。		
66 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故対策部会を設けすべての事故に対するマニュアルの作成中。完成後は研修において職員への周知に努める計画を立てている。個人に対しての事故防止としてはアセスメントを行い計画に組み込むようにしている。		
67 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	職員入職時に初期対応の訓練は行っている。又消防で開かれる救命救急訓練に参加し資格も取れるようにしている。		
68 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に防災(避難)訓練を実施し、消火器具の点検・非常口出入口の清掃・点検を行っている。地域住民への災害時の協力依頼もしている。		地域住民の避難訓練への参加・呼びかけをし合同で行う避難訓練も行っていきたいと思っている(計画段階)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
69 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	身体拘束をしないケアに取り組んでいる為に、身体・精神面から転倒・転落様々な事故に繋がりやすい入居者様に関しては、ケア計画説明時・面会時・等の機会を利用しリスクの説明をその都度行うようにし、リスクに対する理解と対応策についての理解を得られるようにしている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
70 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	業務日誌・経過記録でバイタルや一般状態を観察し入居者様の体調の変化や異変に気づき、看護職員や管理者に報告し受診等の早期対応ができるような体制にしている。又看護職員や管理者も病状の留意点を介護スタッフへ伝達し看護職員・管理者が不在時でも観察・報告できるようにしている。		
71 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬の副作用・用途・用量・用法は看護職員が介護スタッフに申し送りをするとともに、服薬内容をいつでも閲覧確認できるよう個人ファイルに入れておくようにしている。看護職員は介護スタッフへの指示項目を看護日誌に残し、指示を受け変化の確認が継続して行えるような体制もとっている。		
72 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	服薬に頼るだけでなく、ヨーグルト等の乳製品や便通をよくする食べ物を日頃から食材に取り入れる事。毎日の生活の中で身体を動かす機会を多く持つ事、水分をこまめに摂取する事をスタッフは日頃から念頭に置き毎日のケアで便秘を予防できるように実施している。		
73 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	個々の身体状況に応じた口腔ケアを実施するようにしている。義歯洗浄・うがいの介助・口腔清拭・舌苔の除去を毎食後個別に行い口腔内の清潔を保つ援助を個々に行っている。		
74 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の食事摂取量を毎食把握し、摂取量が安定していない入居者様に関しては毎食記録に残している。安定した水分摂取量の確保の為にゼリーで代替したり、こまめに水分摂取を行う等個々の状態に合わせた支援をしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)			現在マニュアルの作成中。作成後は内部研修を行い職員の周知徹底に努める予定
76 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材毎にまな板を変える。食品の開封日の記載、調理前の手洗い等、出来る範囲内で衛生管理は行っている。食材に関しては週2回の買い物をし鮮度管理をするようにしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
77 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関・建物の周りには花を飾ったりし、ご家族様や近所の方々が気軽に行き来できるような飾り付けは行うようにしている。ウッドデッキも外からも行き来できるようにしている。		
78 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間には花を飾ったり、行事の写真を掲載したり、殺風景にならないように飾り付けをするようにしている。出来るだけ光(太陽光)を取り入れる工夫を改築する等で行っている。		
79 共用空間における居場所づくり 共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースにはベンチやソファを設置する等し、いろんな場所で過ごせるようにはしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
81	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
82	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
83	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
84	<p>建物の活用</p> <p>建物を利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所に 印をつけてください)
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
88	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
93	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
95	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
96	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
97	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)